

物理学会・領域2 運営会議

(インフォーマル・ミーティング)

日時： 2004年9月13日(月曜) 17時30分～18時30分

場所： 会場XB (セッションに引き続いて開催)

議題：

- (1) アドバイザリー・ボードからの報告
- (2) 運営規則の改正, 領域副代表(次期代表)の選出
- (3) プラズマ宇宙物理・共催セッションについて
- (4) 2005年・年次大会のシンポジウム, 招待講演
- (5) その他

* 領域2 運営体制の整備について

__物理学会の各領域に領域副代表を置くよう制度の見直しがおこなわれました。これを受けて、領域2の運営規則を資料1のように改定します。

* 領域副代表の選出について

アドバイザーボードにおいて、領域副代表の候補者を下記のように選出しました。

岸本泰明氏（京都大学）

* プラズマ宇宙物理・共催セッションについて

2005年3月の年次大会（東京理科大学・野田キャンパス）において、プラズマ宇宙物理に関する合同セッションを日本天文学会および地球電磁気・地球惑星圏学会と共催します（資料2参照）。

オーガナイズドセッションの形式で講演の募集をおこないます。原案として下記のようなテーマが考えられます。

- 1) 非線形現象（衝撃波，ソリトン，カオス，自己組織化，階層性）
- 2) 乱流・輸送（角運動量輸送，帯状流，自己組織化，非平衡統計）
- 3) MHD現象（磁気リコネクション，ヘリシティー，ジェット，構造形成）
- 4) 相対論プラズマ（降着円盤，宇宙線粒子加速，ジェット，シミュレーション実験）
- 5) 強結合プラズマ（惑星形成，クーロン結晶，ダスト，統計物理）
- 6) 原子過程・複合現象・分光（複合シミュレーション，宇宙計測）

物理学会・領域 2 運営体制の整備

物理学会・領域 2 における学術的活動を活発化させ、合理的かつ自律的な意見集約が行えるよう、領域の運営について下記のような体制を整備する。

領域代表は、アドバイザリーボード（AB）と協力して、領域運営の基本方針を立案する。領域の運営に係る重要事項は、運営会議（年会および分科会の期間集にインフォーマルミーティングとして開催する）において決定する。

AB は、領域副代表の候補者を選出する。運営会議は、AB が推薦する候補者を参考として、投票によって領域副代表を決定する。領域副代表は、次期領域代表に就任するものとする。領域代表の任期は 1 年とする。領域副代表の任期は 1 年とする。

AB は以下のメンバーで構成する。

- (1) 領域代表（議長）
- (2) 領域世話人（6 人）。plasma-net を通じて推薦を受け付け領域代表が選任する。
- (3) サブ領域（プラズマ基礎、プラズマ科学、核融合プラズマ、プラズマ宇宙物理）の代表（4 人）。plasma-net を通じて推薦を受け付け領域代表が選任し運営委員会で承認をえる。
- (4) 関連学会の（プラズマ・核融合学会、天文学会、地球惑星学会、応用物理学会、流体力学会など）からの代表（数人）。領域代表が選任し運営委員会で承認をえる。
- (5) 領域代表および AB が必要と認めるもの（数人）。領域副代表、学会誌編集員を含む。

資料 2

プラズマ宇宙物理共催セッション検討会（第 1 回）

日時： 6 月 17 日 10 時から 11 時 30 分

場所： 東大・本郷キャンパス・工学部 12 号館中会議室

出席者： 中村，寺澤，百瀬，長谷川，吉田

議事：

（ 1 ） 共催セッションのアカデミックプラン

- ・ 共催セッションを企画することについて，3 学会で協力して企画を行う．
- ・ 2005 年 3 月の物理学会・年次大会（東京理科大・野田キャンパス）において第 1 回の共催セッションを行う．
- ・ 第 1 回の共催セッションでは，シンポジウム 1 件，招待講演 1 ～ 2 件，一般講演 6 コマ（ 1 コマ 8 人で 2 時間）を目標として企画を進める．
- ・ 今後の規模については，ホストとなる学会の状況に鑑みて弾力的に計画する．
- ・ 一般講演はオーガナイズドセッションの形で企画する．オーガナイザーとキーパーソンの講演を軸とし，一般公募の講演者を加えてセッションを設計する．
- ・ 物理学会がホストとなる 2005 年 3 月の共催セッションでは，横系的なキーワードで計画する．案として，粒子加速，磁気リコネクション，構造形成，強結合プラズマなど．物理学会で原案を作り，メールで意見を聞いて魅力的で分かりやすいものとする．

（ 2 ） 共催セッションに向けた事務的事項の確認と整理

- ・ 講演者は，ホスト学会の会員と同等の資格で共催セッションに参加・講演できるものとする．所属学会のチェックは，プログラム編成に係る世話人に任せる．
- ・ 講演しない聴講者は一般参加とする．
- ・ 申し込み手順（ W E B からの申し込み方法），予稿の提出手順について，確認する必要がある．
- ・ 学会 H P から（学会誌のみからでなく）必要な情報が取れるかチェックする．
- ・ メールで宣伝および手続きの説明をする必要がある．
- ・ 学会誌にも紹介記事を掲載する必要がある．

（ 3 ） その他，一般的事項，将来計画など

- ・ サイクルの案は，次の 2 つがある．
 - （ A ）物理（ 2005/3 ） SGEPS（ 2006/5 ） 天文（ 2007/9 ）
 - （ B ）物理（ 2005/3 ） 天文（ 2005/9 ） SGEPS（ 2006/5 ）3 年計画としては（ A ）が好ましいが，天文学会の判断をまつ．
- ・ 合同大会で共催セッションを開催するときは，物理学会も共催学会に加わるよう理事会に交渉する必要がある．

（以上）